

国土交通省中国地方整備局管内では最長となる 大山砂防 三の沢砂防堰堤が完成

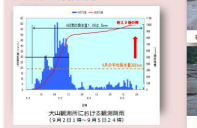
事業者：(国)日野川河川事務所



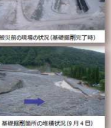
撮影：株式会社井木組様

【工事中：発生した平成 23 年台風 12 号による土砂崩壊】

平成 23 年 9 月、台風 12 号の暴風雨で、大山山系三の沢川の流域に大雨が降り、流域内各地で土砂崩壊が発生。このうち、三の沢川下流の三の沢川に、最大幅約 1.8km に達する土砂崩壊が発生し、約 300 万 m³ の土砂が川床に堆積した。この結果、三の沢川が氾濫し、流域内各地で被害が発生した。



国土交通省中国地方整備局管内では最長となる大山山系直轄砂防事業「三の沢砂防堰堤」が完成した。この堰堤は、三の沢川に長さ 304.0m、高さ 11.5m の堰堤を建設し、流域内各地の被害を軽減する。



大山山系直轄砂防事業 三の沢砂防堰堤



地方整備局 日野川河川事務所

- 不透過部 INSEM-ダブルウォール(DW)
堤高: 11.5m
堤長: 304.0m
中詰材(INSEM材): 目標強度 0.5N/m²
※現地発生土砂 100% 有効活用
- 透過部 CBBO型
透過高: 8.0m
水通幅: 18.0m
最大礫径: 0.7m



三の沢砂防堰堤概要

【この砂防堰堤の概要】
この砂防堰堤は、平成 27 年 11 月 8 日に完成した。この堰堤は、三の沢川に長さ 304.0m、高さ 11.5m の堰堤を建設し、流域内各地の被害を軽減する。

【この砂防堰堤の目的】
この砂防堰堤は、三の沢川の氾濫を防止し、流域内各地の被害を軽減する。また、この堰堤は、三の沢川の土砂崩壊を防止し、流域内各地の被害を軽減する。

【この砂防堰堤の構造】
この砂防堰堤は、不透過部と透過部から構成されている。不透過部は、INSEM-ダブルウォール(DW)構造を採用し、透過部は、CBBO型構造を採用している。

【この砂防堰堤の施工】
この砂防堰堤の施工は、平成 27 年 11 月 8 日に完了した。この堰堤は、三の沢川の土砂崩壊を防止し、流域内各地の被害を軽減する。

平成 27 年 11 月 8 日完成式典が開催され、その様子は(国)日野川河川事務所HP内で公開されています。↓↓↓

